

競技会開催における新型コロナウイルス感染症対策について

道南陸上競技協会

競技会開催における具体的な対策

- ① 各自必ず朝の検温を行い、発熱がある場合は来場しない
※以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせる事
1)同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
2)過去7日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間が必要とされている国、地域から帰国、または当該在住者との濃厚接触がある場合
※大会終了後7日以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に速やかに濃厚接触者の有無等について連絡すること
- ② 人が多く集まる場所の除菌対策を必ず施す（アルコール消毒など）。手洗いの徹底を各所に掲載し周知する。手洗には石鹸を設置（ポンプ型ハンドソープを推奨）。
- ③ 選手、競技役員、観客等、来場者全員がマスクを着用すること。
- ④ 選手の大会参加は自己責任及び任意参加とする。児童・生徒は保護者の同意を得ることを条件とする。
- ⑤ トラック選手はスタート準備への移動前まで、フィールド選手は試技開始までマスクを着用する。
- ⑥ 各学校や団体がテントを設置する場合は、テント内の風通しを良くし、密にならないよう工夫する。
- ⑦ 密閉・密集・飛沫リスク防止のため、近距離での会話や大声での発声を極力避ける。
- ⑧ 競技役員は選手スタート前の密状態を作らぬよう、スタート地点や試技場での間隔を指示すること。
- ⑨ 今後暑い中でのマスク着用となるので熱中症に注意し、細目に水分補給をすること。
- ⑩ 使用した器具についても都度消毒を施すこと。
- ⑪ スタンドや芝生など観覧席では約2m間隔を開けて座ること。
- ⑫ 顧問・引率者は事前に、新型コロナウイルスの具体的留意点を選手に指導すると共に選手等の健康状態を常に把握するよう努めること。率者・指導者は保護者等にも内容を伝える。
- ⑬ ゴミ箱は設置しない。各自がゴミを持ち帰るよう各所に掲載するなどして周知すること。
- ⑭ 競技会に関わる全ての人の感染に対するいかなる責任も負いません。